

序

航空の重要性は今更申すまでもない。我が國民も大分是を理解し青年層のグライダー訓練、少年層の模型航空機製作熱が昂揚したのは誠に嬉しい、模型航空機の製作は實物飛行機へ進む前提であり、立派な優秀機を生み出す基礎である。この基礎を固めることが何より大切である。だが之を工作する場合、好伴侶となるべき適當の書物に乏しいのは甚だ遺憾である。

知友水田敏夫君は自來模型機教育と言ふことについては頗る熱心で然かも指導老練な青年教育家である。日頃の研鑽の結晶が本書となつたのである。本書のはしがきにもあるやうに誰れにでも作れるやうに、模型グライダーを作るそばでお話をし一緒に



作る氣持で書いてあると言つて居るやうに、その説明は細密であり丁寧で模型グライ
ダの製作の方法や之れに附隨する事がらを知るには好個の書であるとお獎めするこ
とが出来る。

昭和十八年九月二十日

臺灣航空協會參事 堀 辰 巳

はしがき

「空を制する者は世界を制す。」航空決戦の大東亞戦争の今日、航空機こそは、皇軍の尖兵であり、皇國守備の最前戦である。大空に醜の御楯と散華した幾多の空の英靈に對し、我等は何を以て報ひればよいのか。大空に羽搏く荒鷺は、何日の日にか來る我々を待つてゐるのだ。あの爆音、あの日の丸をあほぐ感激で模倣型航空機を作らうではないか。我々が空に羽搏く日は近いぞ!! 模倣型航空機は玩具ではないのだ。我々を荒鷺へと導びいてくれる道案内の金の鵠であり、航空精神を培ふ道場である。

模倣型航空機は、形こそあんなに小さいが、飛ぶ原理は實物と何等違ひはないのである。模倣型航空機を作るには、先づ、基礎から學ばねばならぬ。いゝかげんな氣持で模倣型航空機を作る事は罪惡であると思ふ。ところが、燃ゆる様な我々の熱意に對して、手を取る様に教へてくれる書物がなかつた事は、荒鷺に憧がれる我々にとつて實に淋





しく、又、非常に残念であつた。著者は、何とかしてこの惱を取り去りたいと考へ、公務の餘暇を利用して模型航空機の研究に没頭した。乏しい研究の一端をまとめたのが本書である。

本書は、誰れにでも模型グライダーが作れる様に、模型グライダーを作るそばで、お話をし、一緒に作る氣持で書いた。それで、國民學校の先生、父兄方は勿論のこと、學童にでも判つてもらへ、優秀な模型グライダーが大空を我もの顔に飛ぶ事を祈りつゝ、本書をまとめた。模型グライダーの事を何も知らない人が、優秀な競技機を作り、模型グライダーの事なら一通りは判る様に、頁を追つて説明させてもらつた。著者からのお願ひは、是非、最初の頁から順を追つて読み、順を追つて模型グライダーを作つてほしい。

本書は誰にでも作れる初歩グライダーの手ほどき書で、決してこれで模型グライダーは終りではない。次に進むG級・H級への一段階にしか過ぎない。これから、G級。

且級への製作研究に進み、更に進んで、模型でないブライマリー・セコンダリー・ソワラーへと、大空に進み、更に更に進んで大空の御楯と練習機に訓練を重ね、大空に散華した兄鷺に續いて、大空の決戦場へ空染む屍、純忠の意氣と力と團結で進むのである。大空の決戦場に續く道は一つである。模型グライダー製作から大空の決戦場への道は一條に續いてゐるのだ。道は近いのだ。

顧みるに、本日迄幾多の學童に接し共々に模型グライダーを作り、時には失敗に失望し、時には競技會の度々に優勝旗を勝ち得て感激し、又は、幾度かの國民學校の先生方の講習會に講師として、共々に研究させていたがいた事などが、本書をまとめる上に非常に有益であつた。著者の研究は未だ出發したばかりである。もつとく模型航空機の研究に精進したいと考へてゐる。

私事で恐れ入るが、著者に模型航空機の研究が出来、本書を刊行する事の出来るのは、航空協會の方々の賜もので、特に堀參事・若江講師・嵯峨講師の直接間接の



御指導ごしきうと、模型航空機材料もけいかくききざいりつちようを豊富たくさんに配給下はいきゆうくださつた材料店主ざいりようてんしゆの誠意まごころによるものしんと信じ、
 こゝに満腔まんかうの感謝かんしゆの誠意まごころを表す次第しだいである。

昭和十八年九月二十日

「第四回航空日」新富の寓居にて

水田敏夫